

海と船が見える坂道（横須賀港編 + 全国の主な港の坂道）

外から見た横須賀の魅力とは？

H25.7.27 初版作成
H25.12.5 H26.1.27 7.26 追加修正

横須賀近代の歴史と風情（横須賀の発展とともに今もあるもの）

海と船が見える坂道、+パン、立ち飲み、米国文化

自己紹介・平成 7 年仕事の関係で横須賀に勤務し、その後平成 14 年から横須賀に自宅を構えることとなりました。その後単身赴任で、神戸、下関、新潟、北九州と単身赴任で全国の港町に住みました。そうするとその土地その土地のいいところ特徴がわかるとともに、横須賀の魅力も再認識したところでした。またその共通項が「海と船が見える坂道」であることがわかりました。今回私が再認識した横須賀の魅力をご紹介しますと思います



横須賀の魅力とは？ では横須賀の魅力とはなんでしょう？

→それは、横須賀の街の発展の歴史と現在も残っている風景、文化でしょう。

具体的にはなんでしょう？ そして今も残る風景、文化は？

→「幕末横須賀造船所の建設、そして明治の海軍鎮守府、それに伴い人口増、町の発展」、「戦後は米軍の存在、軍転法による平和産業の立地」、でしょう。

→そして今も残る風景、文化としては、

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ① 「海と船が見える坂道」 | ←地形（崖、谷戸）としての風景 |
| ② 独特パン屋・ソフトフランスパン | ←港・近代産業からの食文化 |
| ③ 立ち飲み「角打ち」 | ←港・軍・工場に続く商店街風情 |
| ④ 米国文化 | |

→①～④は近代の港町の発展と密接にかかわっています。そのことも踏まえてこれからご紹介します。

参考

まとめると、

・幕末、フランスの援助により横須賀造船所が建設されこれをきっかけに横須賀の発展は始まります。そして明治 17 年海軍鎮守府設置等海軍造船の港町として発展します。港の部分に工場等が立地するためそれに合わせて人口が増加します。商店街も発達します。人口増に対しては、横須賀の谷戸や段丘上に発達します。商店街については、港の近くの埋め立て地に発達します。

・工場や海軍で働く人のために「パン」を作る文化が発達し、増産するために短時間生産の「ソフトフランス」ができます。働く人は工場帰りに酒店で飲むために立ち飲み『カクウチが』発達します。

・港の工場かと谷戸や段丘の住宅地を行き来するために「坂道・階段」が発達し、港に面するため自然「海と船が見える坂道」となります。（特に横須賀北部から中部にかけて）

戦後も「海軍」が「平和産業」「海上自衛隊」「米軍」に変わったためその構造にあまり変化なく受け継がれています。

付け加わったことは「米軍」の存在による米国文化の付加です。

他の港との比較

実は、この特徴は、九州北九州市とほとんど同じです。

違いは、北九州市が「八幡製鉄所」「石炭」など民生産業で発達したのに対し、横須賀は戦前は「海軍」が中心だということです。

①③はどちらにもあります。

① 「海と船が見える坂道」 (横須賀編)

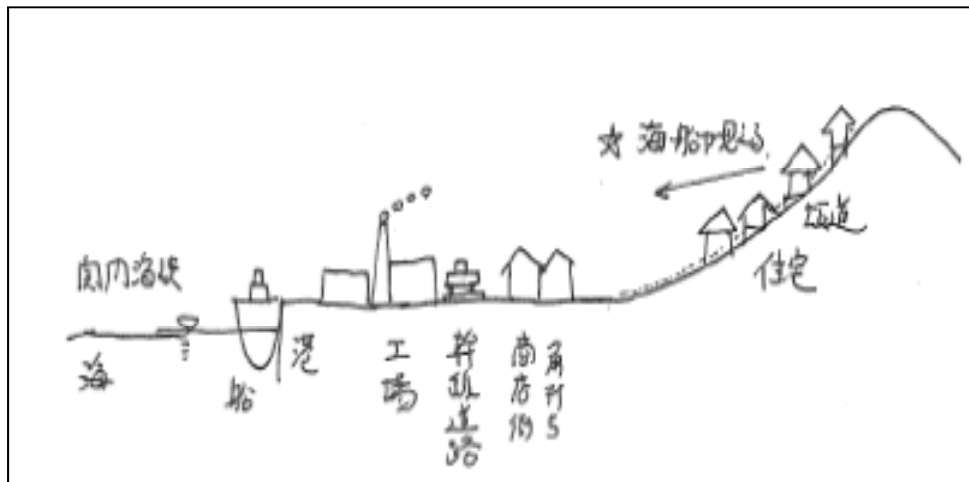
横須賀の「海と船が見える坂道の特徴 (横須賀北部一中部)

横須賀では、横須賀製鉄所建設以来港への海軍や工場の立地による人口増のため、住宅地開発が谷戸や段丘に進みました。その結果、臨海部と住宅地を結ぶ坂道や階段が発達しました。

断面的都市構造

港・海軍・工場—道路・鉄道—商店街(カクウチ)—坂道・階段(崖・谷戸)—住宅

「海と船が見える坂道」断面模式図



地域的にみると、

- ① 追浜地区 (谷戸)
- ② 田浦—汐入—県立大学 (浦賀道と谷戸)
- ③ 県立大学—堀之内 (東京湾に面する段丘)
- ④ 堀の内—馬堀—走水 (浦賀水道に面する段丘)
- ⑤ 浦賀 (浦賀湾に面する段丘)

上記特徴に合致する地域は①—③です。

④⑤については、戦後の住宅開発によるものが多く見られます。

横須賀近代の歴史・文化 (坂道、パン、カクウチなど) に関心のある方、一緒に港町を探検しましょう。

吉田

歌に見る横須賀の坂道、

山口百恵 1976 年

急な坂道 かけ登ったらあ～ いまも海が みえるのでしょうかあ～ ココはヨコスカ～ ♪.

渡辺真知子 1978 年

人はどうして哀しくなると 海をみつめに来るのでしょうか。 港の坂道駆けおりの時 涙も消えると思うのでしょうか

② 独特パン屋・(ソフト) フランスパン

なぜ横須賀のパンに興味を持ったのか？

よく「海軍カレーパン」と言っていますが、食文化では、横須賀ではやはり、市内に多い小さいパン屋と「ソフトフランスパン」でしょう。横須賀に引っ越してきてスーパーでこのパンを買ったときは衝撃でした。フランスパンのイメージと全く違います。よその土地で横須賀の紹介をするときには必ずこのパンの紹介をします。また、市内のパン屋はそれぞれ歴史も古く個々の店で個性を出しています。これも横須賀に来てまず最初に驚いた点です。 私がこれまで尋ねたいいくつかの店をご紹介します。



藤谷ベーカリー 追浜



○北原製パン 追浜



七海パン 田浦



○パンプキン 汐入



○横須賀ベーカリー 中央



○浜田屋 上町



○みのり屋パン 上町



シバベーカリー 安浦



○中井パン 安浦



○浜田分店パン 浦賀

写真無し

○浜田パン 平成町

フランスパンとは？



○はフランスパンを売っているお店です。

参考情報 北九州のフランスパン (シロヤ) 小倉駅前 超有名



横須賀近代の歴史・文化（坂道、パン、カクウチなど）に関心のある方、一緒に港町を探検しましょう。

吉田

③ 立ち飲み「角打ち」

「角打ち」って何ですか？

→お酒を売る酒屋で立ってお酒を飲むことです。横須賀にたくさんあります。横須賀の独特文化でしょう。

なぜ「角打ち」に興味を持ったのですか？

→昨年、北九州からの単身赴任から戻ってきました。北九州と横須賀は製鉄所と海軍を除けば雰囲気はそっくりです。北九州には「カクウチ」と呼ばれる立ち飲みが多数あります。要は、居酒屋が発達していない時代、港の工場からの帰りに、「カクウチ」で軽く飲んで「谷戸」にある住宅に坂道を登って帰ることのようです。横須賀にも昔はたくさんあったようです。今でもまだまだあります。そのいくつかをご紹介します。



追浜 安井酒店



船越 三杉酒店



船越 石渡酒店



汐入 かしわぎ酒店



汐入 ヒビヨ



中央 ヒトヒト酒店



安浦 佐野酒店



安浦 山崎屋酒店



浦賀 吉田酒店



浦賀 小柴酒店



久里浜 小善酒店

参考情報 北九州の「角打ち（かぢ）」多数



門司港 魚住酒店



折尾 高橋酒店



戸畑 田中酒店



若松 西木酒店



横須賀近代の歴史・文化（坂道、パン、カクウチなど）に関心のある方、一緒に港町を探検しましょう。

吉田

④ 米国文化

米国文化はどこで味わえますか？

- ・米国海軍横須賀基地の一般開放や『日米歴史ツアー』が年数回行われます。このとき基地内の飲食店などを利用することができます。まさに横須賀にある米国です。通貨、そこで売っているハンバーガーなど全く米国そのものです。食べ物は若干ヘビーですが。
- ・現在、どぶ板でドルを使うイベント行われていますが、米軍内の商店を米軍内もしくは米軍外に作り特区として日本人も常時利用できるように指定はいかがでしょうか？



米軍基地の中に近代化遺産はたくさん残っています。

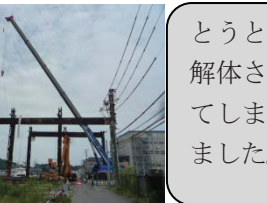
- ・米国海軍横須賀基地内には近代化遺産が多数残っています。横須賀造船所ドライドック（幕末明治初期建設）、旧横須賀鎮守府庁舎、旧横須賀海軍病院などが残っています。さらに驚くべきことは、これらが今も現役で使われていることです。
- ・一方、我が国では、古い施設はどんどん壊されています。たとえば、長浦港のガントリークレーンについては、関東大震災以前に作られました。解体が始まっていて風前の灯火となっています。



参考 長浦港のガントリークレーン(以前の姿と最近の状況)

在りし日

25/7/20



とうとう解体されてしまいました。

現在



一部は市立総合高校に保存？

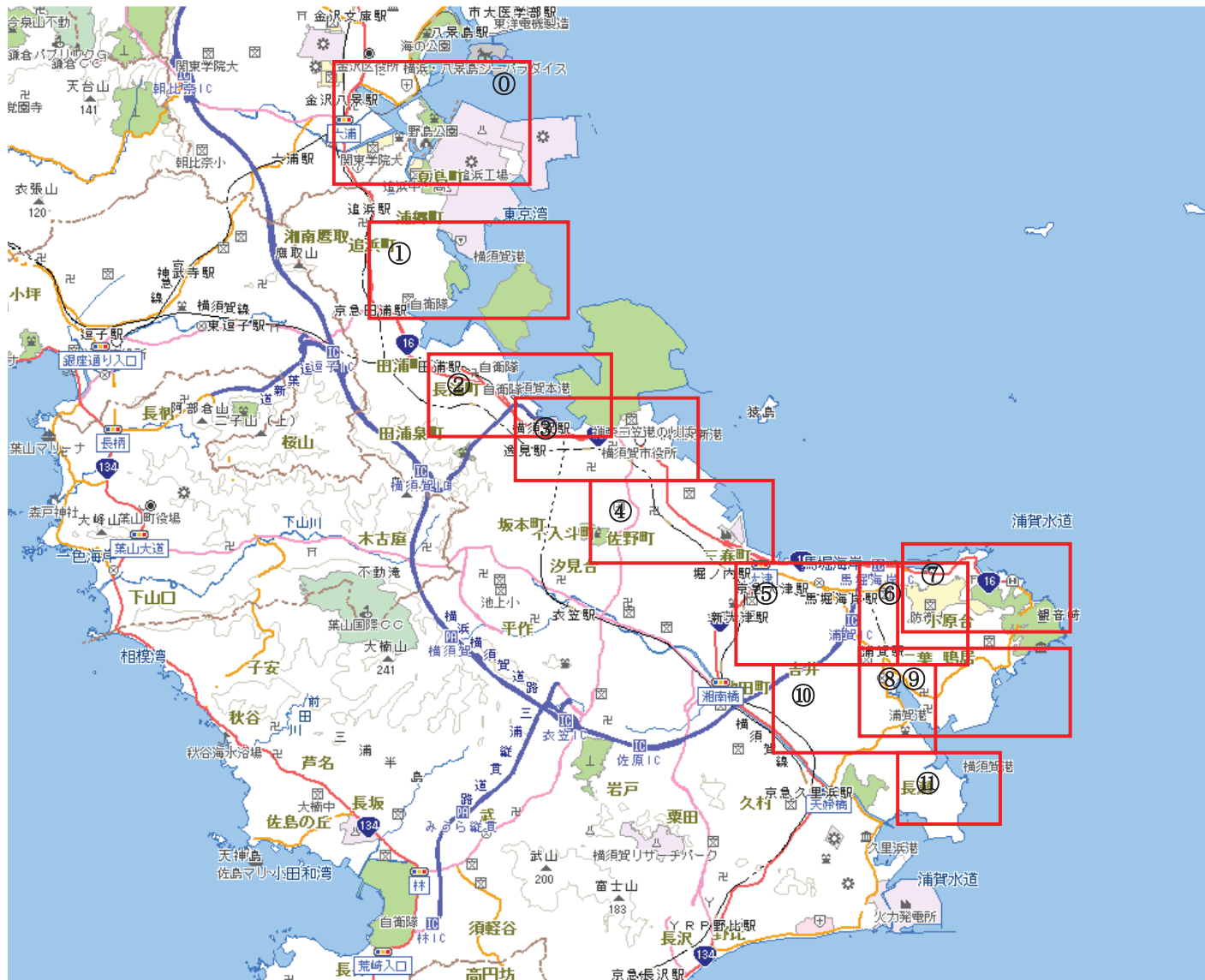


横須賀「海と船が見える坂道」マップ番号対照図

横須賀「海と船が見える坂道」マップは横須賀北部から順次策定している。

各マップの坂道はその特徴から以下の通りに分類できる。

- ・分類1 ①-④ ⑦ 主に幕末以降の横須賀の産業・軍都発展に伴う人口増による坂道。
- ・分類2 ⑤-⑥ ⑧-⑩ ⑪ 主に戦後の台地上の住宅地開発による坂道。
- ・分類3 ⑦ 主に近世における集落内及び東京湾要塞群の坂道。

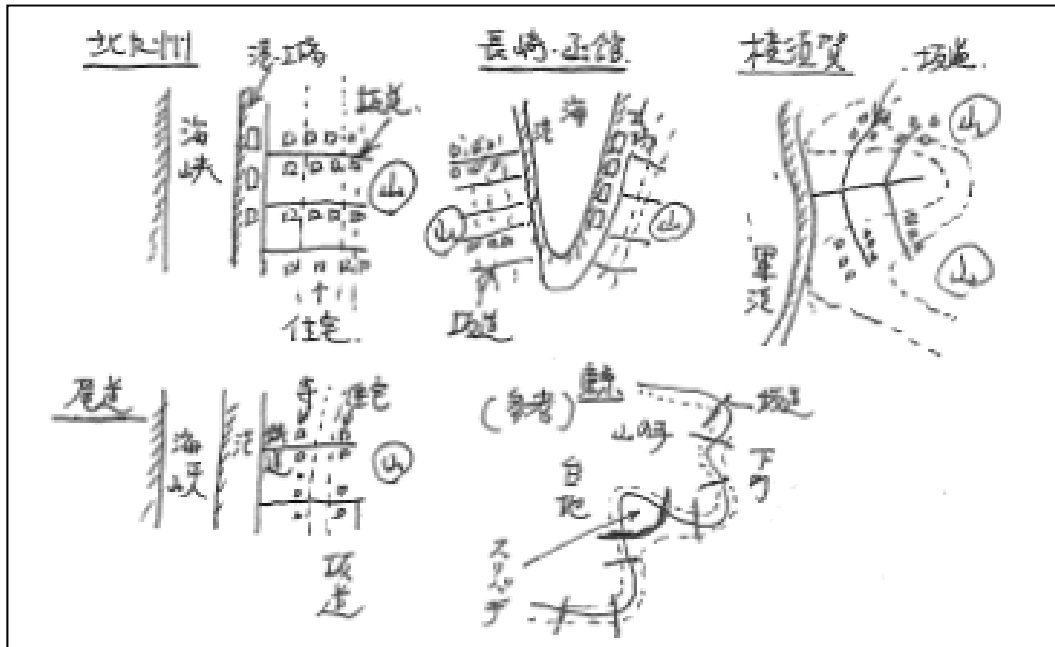


横須賀「海と船が見える坂道」マップを作成するに当たり「横須賀我が町ガイドー標高マップ」を利用しています。

参考資料 全国の「海と船が見える坂道」

各みなとまちの坂道平面模式図

(参考として江戸東京の坂道模式図を含む)



「海と船が見える坂道」を有する港町の分類

海との関係の観点から見ると

- ① 湾型。自然の湾に港が発達。背後の山・丘に向かい坂道が発達。 函館港、長崎港、平戸港、呉港
- ② 海峡型。海峡に面して港が発達。背後の山・丘に向かい坂道が発達。 北九州港、尾道港
- ③ 島型。島の港。背後の山・丘に向かい坂道が発達。 御手洗港、
- ④ その他。

背後の陸地の形状の観点から見ると

- ① 山岳型。背後が山岳になっている。緩やか～急な坂に。 神戸港、長崎港、別府港、呉港
- ② 谷戸型。入り組んだリアス式地形に発達。 横須賀港、
- ③ 崖・段丘型。背後が崖・段丘になりその崖部には上池が発達。 横須賀港、杵築港、佐渡相川港
- ④ その他

坂道周辺の土地利用の観点から見ると

- ① 住宅地に存在。(近代型坂道) 神戸港、横須賀港、北九州港、呉港
- ② 神社、寺院に存在。(近世型坂道) 鞆の浦港、尾道港、木江港
- ③ その他

平成 25 年 7 月作成
 平成 25 年 12 月一部修正
 平成 26 年 7 月一部追加修正

参考資料 全国の「海と船が見える坂道」



北九州港（福岡県）



下関港（山口県）



神戸港（兵庫県）



琵琶湖疏水 内陸水運 インクライン（京都府ー滋賀県）



宮島港（広島県）



尾道港（広島県）



鞆の浦港（広島県）



長崎港（長崎県）



忠海港（広島県）



御手洗港（広島県）



大長港（広島県）



木江港（広島県）



竹原港（広島県）



呉港（広島県）



倉敷（岡山県）



平戸港（長崎県）



別府港（大分県）



白杵港（大分県）



杵築港（大分県）



佐世保港（長崎県）



佐渡相川港（新潟県）

佐渡赤泊港（新潟県）

横須賀近代の歴史と風情

一般公開 勝手な展示企画

○よそ者が見た横須賀ならではのもの（横須賀の発展とともに今もあるもの）

以下の 3 つを紹介

地形としての

①海と船が見える坂道・階段の存在（崖・谷戸）

文化としての

②港・軍・工場に続く商店街→立ち飲み（角打ち？）

③食文化→パン屋（ソフトフランス）

○横須賀発展のターニングポイント

- ・慶応 1 年 1865 年 フランス協力による横須賀製鉄所（造船所）建設
- ・明治 17 年 1884 年 横須賀鎮守府
- ・大正 5 年 1916 年 海軍航空隊設置
- ・大正 12 年 1923 年 関東大震災

○港町の発展

官・工場・軍

- ・汐入地区 明治 4 年 1871 年 湊町
- ・逸見地区 慶応 4 年 1868 年 明治 7 年 1874 年 明治 9 年 水兵屯集所

民・商業

- ・若松町 明治 11 年 1878 年完成
- ・小川町 明治 11 年 1878 年完成
- ・米が浜 明治 22 年 1889 年完成

民・住宅

- ・豊島町（平坂坂上）

行政区としての市の発展

- ・明治 39 年 横須賀町（横須賀＋豊島）
- ・明治 40 年 横須賀市
- ・大正 1 年 1912 年 海軍工廠 33% 商人 28% 海軍軍人 17% 7 万人
- ・昭和 8 年 衣笠村 田浦町
- ・昭和 12 年 久里浜村
- ・昭和 18 年 浦賀町等 40 万人

造船所観光

- ・明治 22 年 横須賀繁盛記 横須賀造船所観光ツアー

○土地の形状

- ・リアス式・谷戸
- ・砂浜
- ・崖の発達

○横須賀の現在において横須賀の発展を醸し出すもの

横須賀都市構造

- ・港・海軍・工場－商店街－道路・鉄道－商店街－坂道・階段（崖・谷戸）－住宅

文化

- ・港・軍・工場に続く商店街→立ち飲み（角打ち？）
- ・食文化→パン屋（ソフトフランス）

地形

- ・海と船が見える坂道・階段の存在（崖・谷戸）

○全国の港町にはなぜ坂道が発達したか？

「明治以降の日本の発展を牽引した産業立地・港の発展による人口増、それに伴う市街地発達の結果」

○もう少し詳しく説明してみましょう。

江戸時代に大きな湊は、北前船の西回り航路など沿岸海運、内陸水運の結節点としての河口部に発達しました。例えば、新潟、酒田、三国（福井）、そして大坂、名古屋。どこも平地です。

しかし明治以降、近代港湾は、富国強兵の下、大型船が入港可能でかつ静穏な海域を確保できる湾に発達しました。その代表的な港が、旧軍関係だと、横須賀、呉、佐世保、舞鶴となり、産業・貿易港湾だと、北九州、神戸、函館などとなります。その結果これまで人が少ないところに人口が集中し、平地がないために、結果的に、山・丘の斜面に住居が建つということになります。そこには、「坂道」が発達します。

○「海と船が見える坂道」の分類はどのようにできますか？

港の海に接する形により以下のように分けられます。別図参照。

- ① 函館・内湾型。自然の内湾に向かった坂道が発達。
- ② 北九州・海峡型。大型の海峡に直轄区に発達。
- ③ 谷戸型。入り組んだリアス式地形に発達。
- ④ その他。

参考

東京（江戸）にも坂道が発達し名前もあります。東京の場合には、台地と低地との間の谷戸に発達しものが多いようです。また、赤羽や大森などは段丘崖となっています。